

湊川新聞

兵庫県立
湊川高等学校
発行



第67回卒業証書授与式

「学校長式辞」より

学校長 中村 鼎平



「前略」さて、ただいま卒業証書を授与いたしました。三十四名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業式に臨み、皆さんの脳裏にはどのような思い出が過(よ)ぎっているでしょうか。友との友情を深め合った体育祭や文化祭、修学旅行などの学校行事のことでしょうか。暑い夏は汗を拭きながら、寒い冬はかじかむに手に鉛筆を握りながら、陽が落ちて暗くなつてから受けていた授業のことでしょうか。

卒業によって、皆さんが得たものは、高卒の資格だけではありません。皆さんが得たのは、辛い涙や苦しい汗を流したのと同じだけの本当の強さと優し

さであります。どうか、定時制の課程を卒業したことを、皆さんの自信、誇りとしてください。

その卒業される皆さんの新しい門出にあつたての餞(はなむけ)に、二つの言葉を贈ります。

一つ目は「いつも心に感謝の気持ち」です。

一口に卒業と言っても、皆さんが今日のこの日を迎えるまでの道のりを考えるとき、それは決して一様ではなく、先ほど申したように、それぞれに様々な困難と苦労があつたことと思います。しかし、皆さんは今日、保護者、ご家族、友人、教職員、この会場の全ての皆様の大きな祝福の中で、この日を迎えることができました。この喜びを決して忘れることなく、明日からまたそれぞれの良き人生の日々を重ねて欲しいのです。

皆さんも覚えているでしょう。昨年十二月三日、日本の英知を結集した小惑星探査機「はやぶさ2」が種子島宇

宙センターから打ち上げられました。小惑星の石や砂を採取して地球に持ち帰るといったミッションを負っているのですが、再び地球に戻ってくるのは二〇二〇年。今から五年後です。六年間も宇宙空間を孤独に飛び続けるのです。機械ですから寂しさなど感じないでしょう。でも、「はやぶさ2」には目に見えないながら、地球からは日本全国の人々が、ひいては全人類が応援しているのです。その目に見えない応援の力が、「はやぶさ2」を後押ししていると思います。

皆さん一人ひとりにも同様に、目には見えなくとも、多くの方々からの応援

援が後押しをしてくれています。それは家族、友達、そしてこの湊川高等学校。

皆さんは多くの人々に応援され、見守ってくれていることに感謝して、これからも自分の力を発揮してもらいたいと思います。

二つ目は「自らの夢を抱き、目標を持ってこれからも過(よ)してほしい」ということです。

本日お越しいただいている定通振興会の岡嶋会長には、昨年十二月十五日に「キャリア教育講演会」としてご講演いただきました。そのお話の中で、『自分のために「目標を持ちなさい。人生において、終わることのない「目標」への挑戦が必要である』とおっしゃっていたお言葉が印象的でした。

また、キログが歌う「未来へ」も紹介しておりましたが、その歌には、次のような歌詞があります。

ほら 足下を見てごらん これ
があなたの歩む道

ほら 前を見てごらん あれが
あなたの未来

夢はいつも空高くあるから
届かなくて怖いね だけど追い
続けるの

自分のストーリーだか



「第67回卒業式 卒業生入場」



からこそ諦めたくない

このように、皆さんそれぞれの「夢や目標」を実現するために、自分を信じて、とことんやり抜いて欲しいと思います。

兵庫県北部但馬の教育者である東井義雄は「本物は続く、続けると本物になる」と言っています。

どうか、自分の夢・理想を追い求め、時々の苦境に臆すること無く、自ら進んで立ち向かって欲しい、敢えて苦労をして欲しいと切に願っています。

卒業生の皆さん、いよいよ巣立ちの時がきました。今後の人生において、皆さんには嬉しいときもあれば、悲しいときもあるでしょう。迷うこともあるに違いありません、そのような時いつでも湊川高校を訪れてください。皆さんが過ごしたこの湊川高校は温かく皆さんを迎えてくれるはずです。母校としての誇りを持ち、懐かしんで欲しいと願っています。また、湊川高校は、なによりもそのような学校でありたいと強く念じています。

本日、湊川高校の校門を出て、素晴らしい人生に繋がる道を、胸を張って進んでください。皆さんの洋々たる前途を祝福し、将来のご多幸をお祈りし、式辞といたします。



「『卒業、おめでとう!』」

学年だより

1年

○年後のあなたの姿は

1月に行く、2月は逃げる、3月は去るというように、3学期はあっという間に過ぎ、学年末考査を迎えたのではないのでしょうか。テストが終わりほっとしたためか、2月23日に行われた卒業生を送る会(ボーリング大会)は得意不得意はありましたが皆で楽しんでいる姿が見られました。2月28日には卒業式が行われ、上級生が卒業していく姿を見て将来を思い浮かべた人もいたのではないのでしょうか。

るのでないのでしょうか。

そして4月からは2年生になります。4月からは1年生も入学して先輩になります。自覚を持って行動をし、生徒会活動や学校行事など積極的に参加し盛り上げてほしいと思います。また生徒の皆さんには以前から話をしていますが、進学・就職のためには、欠席をしないことがとても大切になります。企業の方の話では3年間で10日以上欠席数であれば内定は非常に難しいそうです。今はどうでもいい、将来頑張ればよいと思っている人は甘いのです。自分の将来は今の自分が作っているのですから今できることをしっかりと行ってください。進学を考えている人は、自分の進学先にはどのようなことをしないと入学することができないかをきちんと調べるのが大切です。3年生になってから勉強するのは行きたい進路は限られてしまいます。希望の大学に入った先輩は実際2年になってからすぐに動き出しています。しっかりと将来を見つめ行動できる2年生になって欲しいと願っています。

2年

1年間をふりかえって

あっという間に2年生として、最後の

の3月まで来ました。そして去年も同じことを思ったのではないのでしょうか? 1年間はあっという間に過ぎます、これは必死に頑張った人も頑張り切れなかった人も同じだと思います。なぜなら時間は地球上にいるすべての人に平等に与えられているからです。有名な学者やスポーツ選手、そして世界の長者番付に載るような大富豪にも1日は24時間しか与えられていません。すべての人に平等な時間、どうせなら我々もできるだけ努力しながら過ごしていきましょう。ずっと頑張れなくても、時々必死になれることがあると思います。いやなことばかりだ



「餅つきボランティア」



と書いていても、時々楽しいことがあると思います。完璧にできることばかりではありませんが、すべてが無理不可能なことでもないと思います。湊川高校の職員・生徒のみなさんが、いつも前向きで明るくいられるわけではないと思います。でも時々はやりがいい覚えて、時々楽しい気分になれるばそれではないでしょうか。限られた時間の中で我々がどう生きていくか、少しでも考えていければ少しでも未来が明るく変わるかもしれません。来年は3年生です、卒業する人も4年生に進級する人も時間を大切にしながら頑張っていきましょう。



「地域の人材に学ぶストレッチヨガ」

話を聴くことが

3年

成長につながる

私が湊川高校に赴任して3年が経とうとしています。私は幸運なことに68回生のみんなが入学してから1学年、2学年、3学年と続けて担任をすることができました。私にとってこの3年間はとても大変でしたが、みんなの成長をたくさん見ることでできたとても充実した日々でした。

みんなは授業や学校行事にちゃんと参加し、欠席が規定の回数を超えることが少なくなりました。携帯電話の使用マナーや集会時での脱帽など、注意をしたらすぐに直すことができるようになりました。文化祭の模擬店では決められた時間を守って店番をしてくれました。もちろんこの他にも成長したところはたくさんありますが、このように成長することができたのは、みんなが人の「話を聴く」とことができたからです。

みんなの高校生活はあと1年しかありません。4学年は卒業後の進路について真剣に考えていかなければならない高校生活の中で最も重要な学年です。自分だけの思いや考えでうまく

いかないことが多くあると思います。

自分の思いや考えを、先生方や家族の方にどんな話してください。そして先生方や家族の方の「話をしっかり聴く」ようにしてください。先生方はみんなのことを思いアドバイスをします。家族の方のサポートはどんな進路へ進む場合でも必要になります。

みんなは人の「話を聴く」ことができる生徒です。このことができるみんなはこれかもどんな成長していくことができると思います。過ぎた日は戻ってきません。これからの1日1日を自分が成長していくための大切な日にしていくのだという思いで大事に過ごすようにしてください。私は、68回生みんなが残された高校生活1年間で前を向いて大きく成長していく姿を見せられることを期待しています。

4年

卒業生へ

よく「自分は不幸な境遇に生まれて、今まで幸せを感じた事がない」と言う人がいます。「恵まれな境遇に生まれてしまったから、自分は不幸だ」と諦めてしまい、自分の境遇を恨んでしまう人です。



「卒業生を送る会・ボーリング大会」

でも、こういう自分の不運を嘆いてばかりで、人生の困難を、自ら乗り越えようとしないうちに、どうかならないで下さい。もちろん

人は生まれた環境を選ぶ事ができません。生まれながらにして、人は違うのも事実です。でも、人間みんな、それぞれ悩んでいるのです。どんなに恵まれているように見えても、悩みのない人間なんていません。みんな、それぞれに悩みや困難を抱えて生きているのです。それを克服しようと努力し、懸命に生きているのです。

どうか、ねばって下さい。あきらめないで下さい。きっと、道はあります。この苦しい人生の坂を登れば、なんとかなる



保健室だより

春休みは、新しい学年になる前のち



ます。登りきった時、あなたは強くなっています。偉大な何か(神か仏か?)が、あなたを強くするために試練を与えているのです。私は、苦しい時、そう考え自分を励ましています。だから、途中で人生をなげないで下さい。『人生苦しい時が上り坂』です。君たちは、卒業できたのです。途中であきらめてしまったら、卒業できなかったのです。最後までねばることができたから、卒業できたのです。最後までやり遂げることができた君たちなら、これからの人生、たとえ困難があっても乗り越えることができると信じています。『地域の人材・ダンス』

1月
体温と免疫力の関係について紹介。体温が一度上がると、免疫細胞の働きが5〜6倍になると言われています。自分の平熱を知り、平熱が35度代の人

2月
「疲れ」についてトリップクールの使用法を紹介。「疲れがたまっているから休みたい」という体のサインを見逃さないよう気をつけて、自分に合った休養のとり方を考えてください。

3月
今年度の保健室利用状況の報告、四月から始まる定期健康診断の日程のお知らせをしました。健康診断は年1回

ようど区切りのとき。色々な物を大掃除してみてもいいですか?部屋のいらないものを整理したり、かばんの中に入れておかないものを捨てたり。身のまわりがきれいになったら、こんどは心の中。友達とのわだかまりがあれば、ここでリセット。ごめんね、と思いきって言うてみませんか?新しい学年を、スツキリして笑顔で迎えましょう。

給食だより

の大切なものです。欠席や未提出の内容に注意してください。

食育による「健康投資」のお話

・ 幼いころからの食育で
食べ物上手に選んで組み合わせる事により、がんや糖尿病などの生活習慣病を予防し、料理の基本を身につける事で、自立した生活を送る事が出来る。

・ 幼いころからの健康的な生活習慣で
体力に優れ、若々しく疲れにくくなり気分爽快でゆとりが出る。ストレスが減りスマイルが増え、モラルが高まり、仕事や学習に満足し前向きな気持ちになる。病気になる治療費や入院日数が減る。

・ 食育による健康投資の配当は
つややかな肌、明るい笑顔、白い歯

豊かな髪、良い姿勢、軽やかな足取り、身ぎれいな服装、張りのある声、ウィットのある会話などが配当され、充実した人生を送る事が出来ます。



編集後記

厳しい冬の寒さも日ごと和らぎ、梅の花も咲きはじり春の暖かきを感じる今日この頃となりました。

いよいよ、三学期の終業式を迎えることとなりました。この一年間はどうか。『長いな』と感じた人、『あつという間に終わった』と感じた人、人それぞれ感じ方が違うかもしれませんが、今年度振り返ってみることも大切なのではないでしょうか。四月からの次のステップのための材料になるのではないのでしょうか。

さて、話は変わりますが中国に「菜根譚」(さいこんたん)という言葉があります。この言葉は、植物の茎や根っこは一見美味しくないが、じつくりと噛み続けていると味がしてくるものだという表現で、「人は毎日を地道に、確かな足取りで過ごすことが大事ですよ」という意味です。毎日楽しいことや、賑やかな生活ばかりを追いかけては良くないという戒めの言葉です。まるで童話の「アリとキリギリス」みたいです。

さあ、皆さんはどんな日々を過ごしますか?



3学期の主な行事予定

1月

8日(木) 始業式

9日(金) 大掃除

13日(火) ～14日(水)

オープンハイスクール

16日(金) ～22日(木) 卒業考查

2月

13日(金) ～19日(木)

学年末考查

20日(金) 考查返却日・大掃除

23日(月) 卒業生を送る会

28日(土) 卒業式

3月

2日(月) 代休

23日(月) 終業式

